



A R T

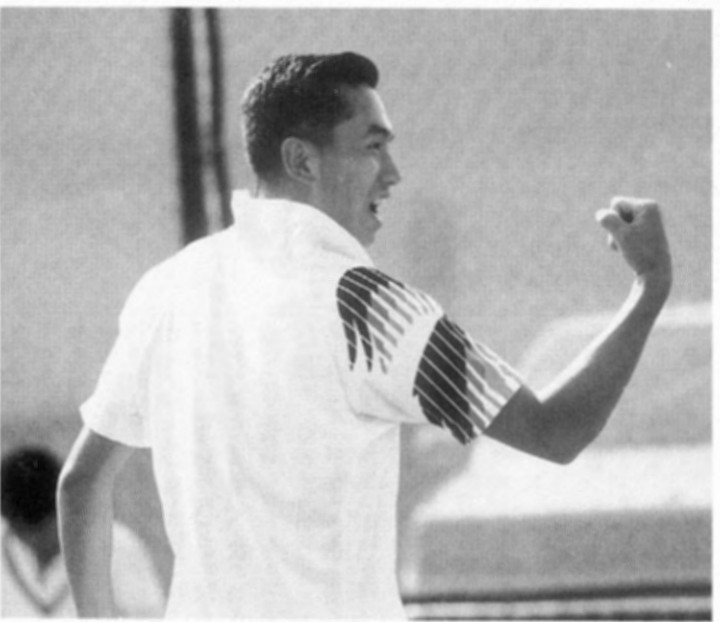
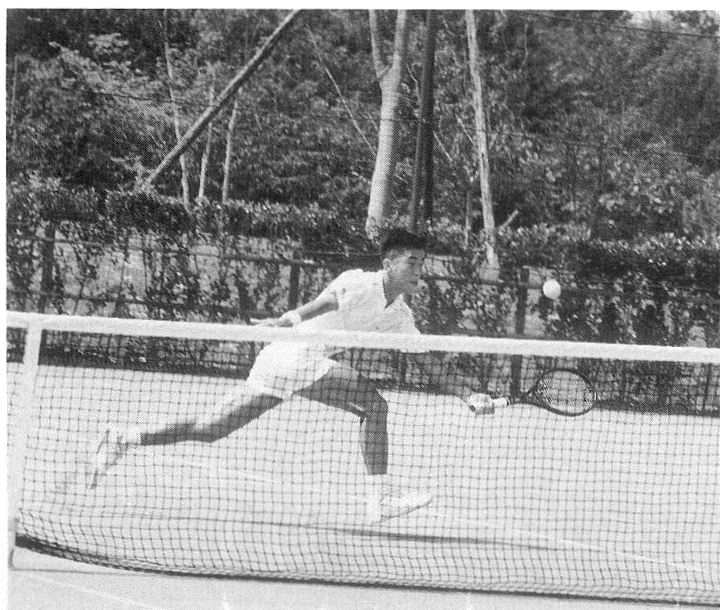
All Rikkyo Tennis

立教大学体育会庭球部部報

発行所
立教大学体育会庭球部
〒171 豊島区西池袋3丁目
電話 (3985) 2680
発行人 深澤伯亮

頑張れ立教テニス!!

——来年こそ、三部昇格へ——



先輩の胸を積極的 に借りよ

庭球部長

伊藤 謙哉

今年もOB総会の日が近づきART発行の時節となりました。3部復帰を果して総会を迎えることができず、本当に遺憾でOBの皆様方にはまことに申し分なく思っております。皆様方にはお忙しい中を物心両面にわたりご指導、ご支援頂き、またリーグ戦の会場には多数応援コーチに参集して頂き心から感謝しております。

今年のリーグの第一戦東農大との試合は各ゲームとも接戦が多く、それらを制して非常にたのもしく思ったのですが、千葉大に完敗し(東農大は千葉大に勝っている)、結局三位になったことは残念でした。実力があるのに何が足りないのかということを見極めて来年の糧にしてほしいと思います。来年度のリーグ戦は春ではなく夏以降になる可能性が大きく練習期間は十分にありません。来年の三部、再来年の二部復帰を再び必須課題として三年次以下の諸君はひたむきに練習に励んでくれるものと確信しております。

先ずはOBの皆様方には、ご多忙とは存じますが、今後とも技術的にも精神的にも一層のご指導を頂きたく、この場を借りてよろしくお願い申し上げます。

発刊にあたって

庭球部OB会長

田中 富弥

一言ご挨拶を申し上げます。低迷久しい現役を小西総監督、倉光監督、各コーチ陣の指導の下で練習を積ませ上位リーグを目指して頑張らせたと思います。今後共相変わらずのご支援ご協力をお願いいたします。

試合の後半を戦える力を

庭球部副部長

栗原 謙二

皆様お変わりなくお元気にお過ごしのことと存じます。季節の移りかわりとともに庭球部のこの一年の活動を見てまいりました。一年前には十一名の一年生部

リーグ戦をふりかえって

監督 倉光 哲

昨年三部より四部に転落し、一年で三部復帰を目指してから一年間、部員全員で一九となり努力してリーグ戦にのぞみましたが、三部復帰を果たすことが出来ず大変申しわけありません。戦前の予想分析では千葉大、帝

京戦が山であろうということでしたが、思わぬ千葉大戦での大敗と、最終戦の帝京大戦の惜敗が直接的な原因であると思われまます。しかし何と云っても選手層が薄く、レギュラーメンバーがぎりぎりで故障者が出たらまずきびしい状況になるであろうという環境下で選手は本当に良く頑張ってくれたと思います。ただリーグ戦後半にきて故障者が出たのは誠に残念としかいいようがありません。もちろん個々のレベルアップは当然ながら、いつ故障者が出てもいいような選手層の厚さと、故障をおこさないだけのハードな練習の必要性というのをあらためて痛感させられました。他校に比べ練習場、練習時間、選手層の問題などハンディキャップは確かにありますがいかに短時間で効果的な成果がある練習を心がけるか、いかに集中して行うか、また、付属高校を含め高校から大学に有望な選手が一人でも多く入部をし、伝統ある立教大学テニス部を再建させるかを具体的に一つ一つ実行していかねばならないと思っております。来年は何としても上部に復帰させますのでOBの方々のご協力を心からお願いをいたします。

《4部リーグ 総合結果》

	立教大	帝京大	学芸大	玉川大	千葉大	東農大	勝点	勝ポイント	失セット	順位
立教大	×	○ 4-5	○ 9-0	○ 6-3	× 1-8	○ 7-2	3	27	42	3
帝京大	○ 5-4	×	○ 9-0	○ 8-1	× 4-5	○ 5-4	4	31	34	1
学芸大	× 0-9	× 0-9	×	× 3-6	× 0-9	× 1-8	0	4	78	6
玉川大	× 3-6	× 1-8	○ 6-3	×	× 4-5	× 1-8	1	15	66	5
千葉大	○ 8-1	○ 5-4	○ 9-0	○ 5-4	×	× 4-5	4	31	35	2
東農大	× 2-7	× 4-5	○ 8-1	○ 8-1	○ 5-4	×	3	27	44	4

平成四年度年間予定表

9月	8月	7月	6月	5月	4月
夏合宿	夏期関東学生テニス選手権	全日本学生テニス選手権	OB総会	春季関東学生テニストーナメント 新入生歓迎会	リーグ戦
				合同練習会 明立定期戦	
			同立定期戦 納会		新進テニス大会

※リーグ戦は、平成五年八月下旬〜九月上旬に行われる予定です。まだ確定しておりません。

平成四年度
関東大学テニスリーグ
リーグ戦結果

第一戦

四月二・三日
於 立教大コート

本学7 (D211) 2東京農
S511) 業大学

初戦の東農大は、前評判ではあなどれない相手だという事を聞いていたので、得体の知れない緊張感がただよっていました。というのとは、とにかく勝って波にのりたいというあせりがあったからです。

さて、試合の方は四月一日、雨の為、四月二日の午後から始まりました。

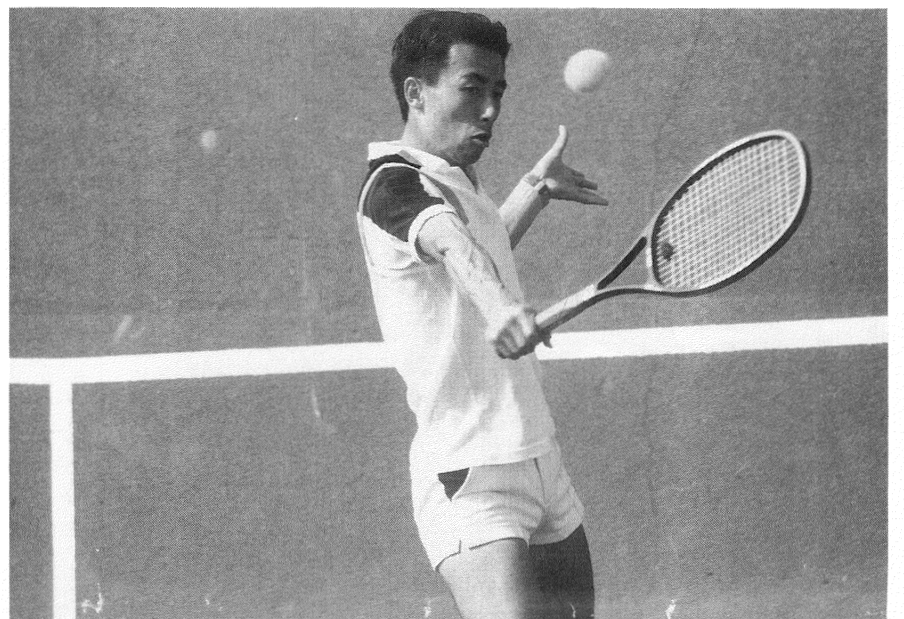
まず、ダブルスから1、2、3と入り、我々としては3対0

第1戦

本学 VS 東京農業大学					
複	No.1	○	相見・太田	7-5, 6-4	金子・長谷川
	2	○	金子・千葉	6-4, 6-3	岡田・寺島
	3		深沢・保泉	0-6, 7-5, 3-6	大麻・笹野 ○
単	No.1	○	片岡 聡	6-0, 6-2	笹野 伸也
	2	○	金子 誠	7-6, 6-4 (4-7)	寺島 洋樹
	3	○	千葉 素久	6-7, 6-4, 7-5 (4-7)	大麻 穰
	4	○	保泉 敦	6-1, 4-6, 7-5	金子 一樹
	5		相見 典祐	4-6, 4-6	長谷川 結城 ○
	6		深沢 伯亮	7-5, 6-2	岡田 稔
7 { 複 2-1 } 2 単 5-1					

第2戦

本学 VS 千葉大学					
複	No.1		片岡・曾我石	3-6, 4-6	穴口・笹治 ○
	2	○	相見・太田	7-5, 6-4	網代・松木
	3		金子・千葉	1-6, 6-4, 3-6	斉藤・田辺 ○
単	No.1		片岡 聡	1-6, 2-6	網代 洋一 ○
	2		金子 誠	3-6, 6-7 (8-10)	斉藤 隆志 ○
	3		千葉 素久	7-6, 3-6, 0-6 (7-4)	穴口 聡 ○
	4		相見 典祐	4-6, 3-6	田辺 聡 ○
	5		保泉 敦	4-6, 3-6	松木 圭介 ○
	6		深沢 伯亮	6-1, 0-6, 1-6	笹治 岳二 ○
1 { 複 1-2 } 8 単 0-6					



第二戦

四月四日
於 千葉大コート

本学1 (D112) 8千葉大学
S016)

第一戦の東京農業大学との試合が雨のため前日の4月3日まであかかってしまった本学は4月4日千葉大コートにて千葉大と対戦した。千葉大は、第一戦においておそらく一位をとる争うであろうと思われていた帝京大を5-4で破っている強敵でかなりの苦戦が予想された。

私はダブルスNO2に出場した。パートナーの相見さんと相談し、始めからどんだん声をだし元気にやろうと決めた。相手ペアは、なかなか手強かったが私たちのガッツポーズや大きな声に威圧されていたようで、試合は私たちペースで進み、ストレートで勝つことができた。しかし他のダブルスは負けてしま



い午前中は1-2で折り返した。午後のシングルスは、せりながら全敗してしまい、1-8で本学は敗れた。

一番落ちこんでいるはずの4年生が皆を上げてしまっている姿が立派だった。皆で残りの3試合は絶対勝とうと誓い、次の第3戦にのぞんだ。

二年 太田 治

テニスの未来を演出する

フミヤスポーツグループ

倉光哲プロの経営するフミヤスポーツでは、現在テニスに関する一切を取扱う専門企業として活躍しています。フミヤテニススクール、フミヤテニスショップ、フミヤスポーツマッサージと3つの部門に分かれ、また企画部門として姉妹会社の株クラミツプラモートも躍進中です。

フミヤテニスショップ		フミヤテニススクール	
本店(西武百貨店池袋店前)	☎(03)3981-0771	相模園会場(京王線仙川)	☎(03)3307-9203
池袋店(西武百貨店8階)	☎(03)5992-8954	富士見ヶ丘会場(井の頭線富士見ヶ丘)	☎(03)3307-6776
渋谷店(西武百貨店ロフト地下1階)	☎(03)3462-3667	高松会場(西武池袋線中村橋)	☎(03)3970-6766
吉祥寺店(近鉄百貨店2階)	☎(0422)21-3331	トムインドア会場(中央線豊田)	☎(0425)85-0201
品川店(品川プリンスホテル内)	☎(03)3447-3068	横浜インドア会場(横浜線大口)	☎(045)401-5611
富士見ヶ丘店(井の頭線富士見ヶ丘駅)	☎(03)3335-7820	西武テニステック(西武池袋SMA館屋上)	☎(03)3988-2756
		スバ白金会場(港区白金台)	☎(03)3444-5811
		水楽会場(豊島区目白)	☎(03)3986-8328
		稲毛会場(京葉線稲毛海岸)	☎(0472)77-8201
		ジュニアナイターコース(キタノアートテニスクラブ内)	☎(0424)48-0248

フミヤスポーツマッサージ 株式会社 **株クラミツプラモート**

池袋本院(西武百貨店池袋店前) ☎(03)3971-3079
高輪分院(品川プリンスホテル内) ☎(03)3442-7171

さまざまな筋肉疲労やスポーツ障害を取りのぞき、回復させるのに専任トレーナーを用意し、日々研鑽に 役立てております。ぜひ一度ご来店下さい。

女子社員及びテニスインストラクター募集
アルバイトでも可 担当:高橋

※スタッフ募集中
株フミヤスポーツ本社
東京都豊島区南池袋1-23-6
☎(03)3971-3065



大日本法令印刷株式会社

本社工場 長野市中御所町3-6-25
TEL (0262) 28-1113 (代)

支社工場 東京都港区西新橋3-6-10
TEL (03) 3434-8641 (代)

第3戦

本学 VS 玉川大学					
複	No.1	○	片岡・曾我石	6-1, 6-1	大熊・依田
	2	○	金子・千葉	6-1, 6-4	西田・広島
	3	○	相見・太田	7-5, 6-4	吉田・高橋
単	No.1	○	金子誠	6-7 (3-7) 6-3, 6-3	高橋誠一郎
	2		曾我石次郎	4-6, 1-6	西田普 ○
	3	○	千葉素久	6-3, 6-2	三瓶泰樹
	4		相見典祐	7-6 (7-4) 3-6, 1-6	広島秀行 ○
	5		保泉敦	2-6, 4-6	吉田滋郎 ○
	6	○	深沢伯亮	6-4, 5-7, 6-1	依田新
6 { 複 3-0 } 3 { 単 3-3 }					

第三戦
四月七日
於 立教大コート

リーグ戦第3戦の玉川戦をむかえました。我々立教健児は、初戦で圧倒的強さを見せ、東農を破ったものの、2戦の千葉大に1-8という苦い結果に終わってしまいました。我々は、この予想外の失敗に自分を含め、皆で反省し、玉川戦・学芸戦には9-0をつけ、帝京戦、入れ替戦にのぞむと誓いました。しかし、玉川戦では、ダブルス3-0シングル3-3計6-3の好ましくない結果となりました。自分は大事な単・複の2本を預かりながらも、シングルスで破れ1本失ってしまいました。(全勝に誓いをかけたのに……)と心から泣きました。しかし、今の自分に来ることは、残り

の試合で与えられたチャンスを活かすことです。もう誰にも負けません。もう後がないのです。ジャッジ・ボーラー・応援をして試合に全身全霊をかけることを部員全員で一丸となり誓いました。
次の学芸戦では9-0つけるぞ!

二年 曾我石 次郎

第4戦

本学 VS 東京学芸大学					
複	No.1	○	片岡・曾我石	6-0, 6-2	斉藤・佐藤
	2	○	金子・千葉	6-4, 6-1	松本・村中田
	3	○	相見・太田	6-0, 6-4	石井・島田
単	No.1	○	片岡聡	6-0, 6-0	杉山竜一
	2	○	金子誠	6-2, 6-1	羽山隆
	3	○	千葉素久	6-4, 7-5	佐藤伯資
	4	○	保泉敦	6-1, 6-1	石井鮮太
	5	○	深沢伯亮	6-3, 6-0	村中田博
	6	○	相見典祐	4-6, 6-3, 6-3	松本秀彦
9 { 複 3-0 } 0 { 単 6-0 }					

第四戦
四月十一日
於 学芸大コート

早朝の学芸大学の正門から入り、我々は並木道を歩いた。ここを通るのは二度目、一度目は昨日、雨天中止となり、なんと日を通さなかった。しかし今日も天候は完全回復とは言えず、多くの水溜りは桜の花びらでいっぱいだった。このくずついた天気は私の精神状態は複雑だった。だが、コートサイドに着き、学芸大の部員達が必死にコート整備をしている姿を見て私は心に火がつくのを感じた。第四戦、残り三試合全勝しなければ我々が去年から必死になって追い求めてきた目標を達成することはできない。このためにはまず学芸に快勝し、部にさらなる勢い

をつけることが絶対条件だった。試合は始まった。正に立教の快進撃だった。ダブルス3-0シングル6-0、力だねじ伏せる圧倒的な勝利だった。この時、私は残す戦いに必要な力を入れた気がした。今の自信さえ失うことがなければ、我が校に敗北は有り得ないと信じて疑うことはなかった。

二年 千葉 素久



最終戦

本学 VS 帝京大学					
複	No.1	○	片岡・曾我石	6-4, 6-1	笹原・佐藤
	2	○	金子・千葉	6-4, 7-5	橋本・三国
	3		相見・太田	1-6, 2-6	岡部・原田 ○
単	No.1		金子誠	3-6, 5-7	笹原英男 ○
	2		片岡聡	5-7, 2-6	原田順二 ○
	3		千葉素久	4-6, 2-6	岡部涼太 ○
	4	○	保泉敦	6-2, 6-2	佐藤信哉
	5		相見典祐	6-7 (7-9) 7-5, 3-6	橋本隆昌 ○
	6	○	深沢伯亮	7-5, 2-6, 6-4	三国修資
4 { 複 2-1 } 5 { 単 2-4 }					

最終戦
四月十三・十四日
於 立教大コート

三勝一敗でむかえたリーグ戦第五戦対帝京大学戦は四月十三日・十四日に行なわれた。昨日の雨でコート不良の為、遅れて十二時より試合が行なわれた。これに勝てば入替戦がかかることあって本校の気合は相手校を圧倒しているように思えた。その結果、ダブルスNO3こそ落とししたが、NO1、NO2をとり、2対1でシングルスむかえることができた。本校はダブルスよりもシングルスの方が強いとされていたので、強気の気持ちが増していった。
シングルスNO4・5・6が入った。どのコートも熱い試合が繰り広げられていたが、NO4がまずストレートで庄勝、続

いてNO6がファイナルセットにもつれこむ接戦をものにした。計四対一。誰もが本校の勝ちを確信した。そこに甘さがあったのかも知れない。NO5、NO3を惜しくも落とし四対三で翌日のNO1、2へ持ちこたされた。本校の1、2は関東学生であり勝利は目前だった。
しかし、本校には入替戦は無かった。

四年 片岡 聡

情報と文化の新しい流れを
創りつづけて86年

第一法規出版株式会社

本社 〒107 東京都港区南青山2-11-17
TEL.(03) 3404-2251 (代)

支社 札幌/仙台/長野/名古屋/大阪/
広島/高松/福岡

営業所 沖縄

石炭・LPガス・住宅機器・情報機器・㊟煉炭・豆炭・石炭
自動車保険

総合エネルギー商社



橋本産業株式会社

住所
東京都台東区上野1丁目15番5号

TEL 03-5688-6311



橋本産業本社ビル



株式会社 **建設工業社**

〒150 東京都渋谷区渋谷3-27-13
TEL 03-3409-9511 FAX 03-3409-9516

営業種目

特許小宮山式 スプリンクラー装置
特許CEC式 屋内外自動消火栓
各種消火設備設計施工
自動火災報知設備設計施工
各種消防設備保守点検

営業分室 TEL 03-3445-4411 FAX 03-3445-4412

山形営業所 0236-31-3103 0236-31-3153
仙台営業所 022-273-4812 022-271-9634
横浜出張所 045-316-7531 045-316-7532
大阪店 06-864-4532
工場 0482-22-5870

32年卒 小宮山 和 知

OBの声

昔のエピソード

岸本 駿二先輩 (S27年卒)

立教中学から進学した昭和十二年は終戦から一年七カ月の混乱のさ中だった。池袋西口前から丸井の辺り迄の1帯は焼跡にできたバラック造りの闇市で古着、雑貨や僅かばかりの食料品が売られていた。練習場にふかし芋や芋あん入りドラ焼で食料不足の空腹をいやした。とに角腹ペコの毎日だったのだ。当時一学年六百八人程、しかし各運動部とも全国のトップクラスで活躍していた。庭球部も勿論一部(六校制)で頑張っていた。大学に入ったら運動部、は当然の雰囲気でも殆んど経験の無いままテニスを選び入部した。クラス内も運動部員が多く体育会全盛だった。

コートは現在の立教小学校の所に在ったが小学校の新設で代りに理科専門学校(現理学院)南側の石コロだらけのグラウンドが与えられ、資金不足のため部員がモッコ担ぎやローラー引きなど努力提供で汗と泥にまみれてコートを作った。チャプレンの祈りに始まるコート開きの感激は今も忘れられない。あれ程苦勞して造ったコートをいま現役部員が使える状態で無いのは大変残念に思う。

現在の立教テニス

八木沢 恭司先輩 (S49年卒)

現在の立教テニスについては、OB全員がもっと強くなってほしい。リーグ戦、個人戦で良い成績を残してほしいと願っている。現実には、現役諸君も強くなるべく一杯練習をしていると思う。何故勝てないか?、何回か練習を見て感じたことは、ラリーが続かない、コートカバーが遅いということだ。勝つためには練習、試合の中で考えるべき点を3つ書くことにする。第一は、どういうボールを打とうと思っているか、ウィニングショットはなにか、そのショットを使ってどういうふうなゲームを組んでくるかという自分のプレイスタイルを認識すること。第二は、相手のショットを見てミスが多いショットは何か、打点、スウィングの一定しないショットはなにかという相手の弱点を見つける目を養うこと。第三は、自分のプレイスタイルでゲームを進めているか、相手の弱点を忍耐強くめめ続けられているか自己分析ができること。この三つを頭にに入れて練習すれば、一球の大切さ、次の自分の動きを考えられる。少なくとも0-6、0-6、というスコアで負けることなくなるだろうと思う。過去には、同じコートで練習し、インカレ、オールジャパンに出場したプレイヤーが数多くいたことを忘れないでほしい。三年度リーグ戦も、四部三位という結果に終わった。個人戦、三年度リーグ戦に向けて頑張ってください。

「現在の立教テニス」

清 隆一郎先輩 (S63年卒)

わたくしが、卒業してもう五年目になろうとしている。自分の達々の幹部の時に2部に昇格して引退したためか学生時代の思い出といえれば良い思い出しか思い浮かばない。

しかしその後の立教テニスといえば、2部に2年間残留した時期があったもののそのあと3部、そして昨年4部と低迷している。なぜ現在の立教テニスが勝てないのだろうか。私が引退してから今迄現役を見てきて、特に気になったところを少し厳しいかもしれないが、立教テニスのためと思以下に述べさせていただきます。

ある学年にインカレレベルの者がいるとすると、他の者があまりにも影響されて自分のテニスを忘れて真似をしてしまう。たとえば、練習で入らないバックハンドのトップスピンのパスを試合で打ち何本もミスをおかしてしまおう。またダブルスにおいては、センターセオリーにかかわらずファーストボレーからショットクロス、あるいはストレットに打ちミスをしてしまおう。そしてまた自分よりも数段上手なOBの方とプレイしているにも関わらず格好のいいショットを真似してミスをしてしまう。また出会いがしのショットが入ると、それは自分で打てるショットだと思ってしまう。すなわち、自分のできるプレイとそうでないプレイをよくわかっていないのである。これでは敵がしっかりと攻めてくればひとたまりもなくなってしまうはずだ。我々が5年前、現役時代に口をすっぱくして言われたことは、現役はとにかく我慢のテニスをしななくてはならない。ダブルスでショットクロスを打ちたくてもセンターセオリー、ファーストボレーもこれまたセンターに打て、OBの方と試合をしても切った張ったの一発勝負に付き合って打つな、ただしロブが上がったらどこからでもスマッシュを打てる様になれこれだけのことを守ってプレイしていれば、おのずと自分のポイントを取るパターンが見えてくるはずだ。ただし、5年前と今とは考え方が多少違ってきているかもしれないが、我々の現役時代には我慢して打たなかったショットを平気で打とうとしてミスにはよく見られる。

定期戦結果

平成三年度

しかしこれは、単に今の現役だけが悪いのではなく、理由の1つとしてどのプレイヤーが良く、どれが悪いかのわかっているOBがなかなか練習に来ていただけはない、という現状もあるのではないかと自分を含めて反省している。

最後にになりましたが、今後これ以上4部残留するのはあまりにも恥ずかしいことでありまずいので、コーチとして自分も先に述べました点に特に注意しながら練習を見ていきたいと思っておりますので、諸先輩方につきましても厳しい目で、もうあとがない立教テニスのために御指導の程宜敷くお願い致します。

同立定期戦

九月二十二日

於 同志社大コート

本学0 (複0-3) 9同志社大 (単0-6)

毎年の恒例である同立定期戦は、立教大学硬式庭球部が新チームとなって初の対抗戦であり部員全員が夏合宿の成果をすべて出せるように一丸となつてのぞんだ。本学は金子、片岡の二名が関東学生資格であるのに対し、同志社側は部員のほとんどが関西学生資格をもちその内3名が全日本資格者であった。資格者の数では、圧倒的に劣っている本学ではあるが、昨年度(本学4-5同志社大)のように相手の資格に惑わされることなく自分のプレーにだけ集中すれば今年はずっと勝つことができるという自信が信じていた。

明立定期戦

十一月二十四日

於 明大コート

本学0 (複0-3) 9明治大 (単0-6)

同立定期戦と並んで恒例の明立定期戦が、昨年同様明治大学八幡山グラウンドにて行われた。近年、この明立定期戦において我が立教は、黒星続きである。しかも、先に行われた同立定期戦では完敗していた。そのためなんとしても今回は勝利をものにしたい、部全体の士気を高めるべく部員全員が一丸となって臨んだ。しかしながら、壁は厚く、結果はダブルス0対3、シングル0対6と同立定期戦と同様0対9と大敗を喫してしまつた。二部校と四部校といった格の違いを、見せつけられてしまつた感じがした。

合同練習会

三年 浦邊 雅庸

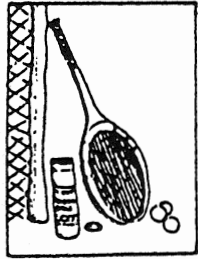
平成三年十一月二十三日、小生から大学生まで集まり合同練習会が開かれた。

青空にめぐまれ、最高のテニス日和である。倉光監督、その他コーチの方々の手厚い指導の元、練習が始まった。体操、ストレッチを終えて倉光監督からあらゆるショットの実技説明を頂いたのち、各コートに分れて練習を開始された。

午前中は、球出し練習を中心に進められた。大学生が球出しするボールを必死に打っている小学生は、上手くはないがとても力強いものを感じた。中学生ともなると、とても上手な人が多くこれからは期待できそうな予感を感じさせる。

午後に入って大学生、中学生が混って試合が行われた。中学生も大学生を相手にすばらしいがんばりを見せ、大学生もうかうかできないシーンが多々あった。このような行事を通じて、大学生になつてからもテニス部に入ってテニスをしようと思ってくれる小学生、中学生、高校生がいてくれればとてうれしく思う。

テニスを心から好きになつて一生の友として続けていくこと、また続けられることは、とても素晴らしいことだとこの日感じた。



上野運輸グループ主要会社

創業 124年

中島総業株式会社
株式会社 ユキ・ジャパン

群馬県館林市大手町 8-24

0276-72-0420

昭和51年卒 中島幸彦

株式会社上野運輸商会

東邦海運株式会社

上野ケミカル運輸株式会社

上野輸送株式会社

上野石油倉庫輸送株式会社

旭日通産株式会社

旭菱石油株式会社

三光石油株式会社

株式会社ワイ・エス・ケー

上野興産株式会社

伊勢湾防災株式会社

上野マリン・サービス株式会社

中部マリン・サービス株式会社

西部マリン・サービス株式会社

オクサリス・ SHIPPING Inc

ウエノ・ストルト・タンカーズ Inc

株式会社ラック・コーポレーション

上野ビルメンテナンス株式会社

日本ハウジング株式会社

京都サザンテニスクラブ

上野システム開発株式会社

一年を振り返って

主将 金子 誠

ついでに間本学に入学し、庭球部の門をたたいたと思ったりもう引退です。三年という年月はあっという間に過ぎてしまいました。しかし、「我が人生に悔いなし」です。生活がとて充実していたからにちがひありません。私は大変満足しております。入部以来、下部降格の思い出しがありませんでしたが、今年昇格さえ出来ませんでした。何がと踏みとどまることが出来た。

ここ二、三年、本学はリーグ戦で殆ど勝っておりません。なぜ勝てなかったかと私なりに分析しますと、もちろん我部の実力低下、他大学の活発な推選制度等もありませんが、一番の理由は、すぐ様上部に復帰しなくてはという気持ちからくる不安やあせりがプレッシャーになってしまったからだと思います。がんばらなくてはと思えば思うほど結果がついてこない。正に気合いのから回ります。このような心理状態で居りますと、勝っている時でもそのまま勝てるだろうか。もしかしら逆転されるかも知れない。と悪い方向へ行ってしまう。

しかし、今年リーグ戦で三勝することが出来、その内の対学芸大学戦と東農大学戦では九対〇、七対二と快勝することが出来ました。この時は私も本当に嬉しかったです。下級生にリーグ戦で勝つ喜びを経験させることに大きな意味があったと思っております。今年ももう一歩力が及びませんが、あともう少しです。今年をターニングポイントにして本学がこれから上部へ昇格していきけるものと堅く信じております。OBの皆様、これからも一層の御指導の程宜しく御願ひ申し上げます。私も現役としてはもうプレイできませんが、これからは部員を指導する側としてがんばって行きたいと思っております。

がみのりのある年でした。任命された当時は、私に務まるだろうかと不安もありましたが、一つ一つ壁を乗り越えて部員をまとめて、一つの目標に向かって努力することは本場にすばらしいことだと思えました。またこれから社会に出て行く上で、自分を磨く良い経験をしたと思っております。

本年に向けて

新主将 相見 典祐

本年もART発行の季節となりました。OBの皆様には、常日頃、我々を暖かく御指導、御支援頂き、心から感謝しております。

私、本年度主将を務めさせて頂きます。法学部法学科三年、相見典祐です。宜しく御願ひ申し上げます。

「今年必ず三部に昇格できる！」そう確信してリーグ戦に臨んだものの、四部残留という悔しい結果に終わってしまいました。しかし、今回のリーグ戦で我々下級生は、来年のリーグ戦に生かすべく大変多くのことを経験し、学びました。四年生が引退され、新しく一年生が入部し、心新たに三部昇格を目指す立大テニス部が生まれたのです。さて、来年のリーグ戦ではどのようなにすれば勝てるか、ということを考えて、まず現行の春のリーグ戦が来年から夏に移動するということもまた重要な問題になってきます。当然のことながら、夏の熱さに耐えられるだけの体力が必要であり、極端に言えば体力の差が勝敗の差に関わってくるのです。そこで今年には特に体力トレーニングを今まで以上に強化して行きたいと思っております。そして、今年のリーグ戦では、ダブルス形式の練習強化が功を奏し、ダブルスにおいては千葉大戦を除くすべての試合に勝ち越すことができ、チームの雰囲気も良く、午後のシングルに精神的余裕が

できたので、引き続きダブルスの一層の強化をしていきます。また私がこのチームに望むことは、「お互いが相手を強くする」ということです。現段階ではチームにお手本となるような者がいないので、お互いに情報交換をして各個人がチームのために貢献しなければなりません。例えば、練習中に先輩後輩関係なくお互いに良い所、悪い所をできるだけ指摘し合えるようにしたり、部内で試合をした時に、試合後どうして負けたか、どうすれば勝てたかなどを話し合ったりすることです。そうすれば自分も相手も成長することができるとは思います。レギュラーになる事も確かに大事ですが、あえて自分の欠点をさらけ出して、どうすればそれを克服できるかを周りの人間と共に考えられればこんなにすばらしいことはないと思います。私としては、このことがチームの勝利へとつながるものと信じております。このチームは、どんぐりの背くらべ状態ですが、このどんぐりが発芽できるように、三部復帰できるように、現役一丸となってより一層練習に励んでいくつもりです。OBの皆様、今後共、御指導の程、宜しく御願ひ申し上げます。

卒業生紹介

主将 哲也

大事なところで、必ずポイントを取ってくれた立教ナンバー1の増田さん。主将として、私たち後輩をいつもリードし、厳しく指導していただきました。就職先 東京海上

主務 弘利

何事にも真面目で、真正面から取り組み、地道な堅実さを教えていただきました。就職先 日立ソフト

副将 充生

最後のリーグ戦で見せてくれた、あのガッツと粘り強さは、我々部員を奮い立たせてくれました。就職先 読売広告社

中尾 正芳

後輩をねぎらいながらも、長



新入生紹介

理学部 化学科 一年 河村 貴史

就職先 伊勢丹

僕がテニスを始めたのは、高校の時でした。兄もテニス部にいたのでその影響もありました。このたび体育会に入ったのは精神的に強い人間になりたかったからです。

理学部 物理学科 一年 出口卓央

体育会に入部したからには、他のテニスサークルとは違って遊びのテニスではなく、自分のチャレンジ精神を生かし、強いテニスマンを目指してがんばりたいと思います。

理学部 法学科 一年 山崎 雄一郎

就職先 松本 俊一郎

僕が初めて先輩方のテニスを見たのはリーグ戦でした。その時まず目を見張ったのは、鍛え上げられたパネのような足と、それがあってはじめてできる高校時代からは考えられないような長いラリーでした。これは頭であれこれ考えてできることではない。練習しかないと思いた。僕は高校時代から、ケジメのある体育会テニス部にあこがれていました。そしてこの部活は僕の理想通りで、特にすばらしいのは毎回上手な先輩方から適格なアドバイスを頂けることです。このアドバイスをしっかりと心に刻みこんではやく先輩方に追いつき追いこせるよう頑張ります。

経済学部経営学科

女子マネ 政所 芳子

一年N組の政所芳子と申します。白百合学園高等学校出身です。小学校3年生の頃から同じ女子校に通ってのもんもんとしたかったので、立教大学に入学してから、毎日驚かされることばかりです。

これから四年間、一生懸命テニスにうちこんでいる部員の方々の練習を少しでもやりやすくすることができるよう微力ながらも頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

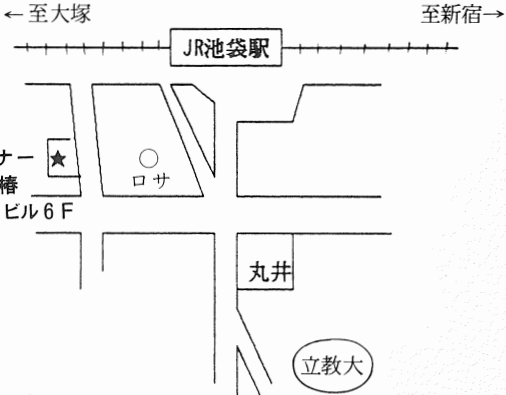
ディナーBAR "椿" 池袋西口 (ときわ通り) 沿い

にオープン!!

落ちつきのある本格派BARコーナーと予約制のステーキのディナールームをもうけ食事とお酒がゆっくり楽しめます。ご家族でのお食事、会社での会合等貸し切り20名様までご利用下さい。

営業時間: PM5:00~AM2:00 日曜・祭日定休

豊島区池袋2-41-2 葉山ビル6F 3590-3050 54年卒 秋元英晴



Advertisement for N.C.L.A. SPORTS featuring a Volkswagen Beetle and contact information for the New Creative Life Association.

立教大学体育会庭球部名簿

学年	学部	学科	役職	氏名	出身校	〒	住所	電話
			部長	伊藤 謙哉		177	練馬区石神井町8-15-12	3996-5075
			副部長	栗原 謙二		171	豊島区西池袋2-25-10-106	3988-5071
			総監督	小西 一三		464	名古屋市千種区千代ヶ岡1-107-1005	052-773-3402
			監督	倉光 哲		168	杉並区宮前3-30-8	3335-7925
4	法	国比		金子 誠	立教	155	世田谷区代田2-29-3	3414-2964
4	社	社会		深澤 伯亮	"	350-13	狭山市北入曾1458-55	0429-58-0130
4	社	社会		保泉 敦	"	115	北区志茂2-53-6	3901-0751
4	社	産関		大須賀将徳	県立国分	275	習志野市八津5-20-2	0474-79-2870
4	理	化		片岡 聡	県立鎌倉	253	茅ヶ崎市本村1-16-13	0467-51-7935
4	文	英米		青木 理子	県立厚木	241	横浜市旭区今宿2400-128	045-391-7613
4	文	英米		宮澤 華子	横浜共立	241	横浜市旭区万騎ヶ原43	045-364-8247
3	法	法	主将	相見 典祐	県立鎌倉	252	藤沢市遠藤1098-4-0・59-4	0466-87-2340
3	社	観光	副将	浦邊 雅庸	八代学院	352	新座市東3-12-23-201	0484-87-3063
3	法	国比	主務	後藤 孝	立教	177	練馬区南田中1-4-18	3996-9408
3	経	経済学	連	二塚 圭介	"	350	川崎市脇田新町16-1-312	0492-45-4604
2	法	法		青崎 琢弥	"	141	品川区大崎3-1-17	3441-9819
2	社	産関		太田 治	石神井	167	杉並区上荻4-14-31	3396-1900
2	社	社会		小俣 光司	立教	155	世田谷区代沢5-36-12	3414-2180
2	経	経営		酒本 大輔	都立青山	157	世田谷区成城4-18-15	3482-2343
2	法	国比		曾我石次郎	立教	272	市川市市川1-13-12	0473-23-4356
2	経	経済		千葉 素久	"	177	練馬区富士見台4-22-3	3970-0747
2	社	社会		中川 孝博	海城	353	志木市上宗岡1-4-69	0484-72-6171
2	文	キリ教	副務	中村 純也	県立秦野	259-11	伊勢原市高森1540-14-204	0463-94-8626
2	文	英文		羽鳥 貴也	立教	201	狛江市中和泉4-5-20	3489-7002
2	法	法		原 哲也	"	178	練馬区西大泉1-26-11	3922-9878
2	法	観光	副務	宮本 匡彦	"	110	台東区池之端2-5-34	3828-6078
2	法	国比	女子マネ	小宮 美穂	捜真女子	235	横浜市磯子区栗木1-3-6	045-772-0633
2	文	英米	女子マネ	鈴木しおみ	吉祥女子	176	練馬区旭ヶ丘2-34-3	3530-7370
2	法	法	女子マネ	野口かさね	古川第三	306	古川市宮前町10-15	0280-22-7301
1	理	化学		河村 貴史	専修大 大戸	271	松戸市上本郷3-6-98	0473-64-8676
1	理	物理		出口 卓央	立 春日部東	344	北葛飾郡庄和町米島261-58	048-746-8599
1	経	経済		松本俊一郎	フィリピン インター ナショナル スクール マニラ	201	狛江市東和泉3-14-3-306	3480-7579
1	法	法		山崎雄一郎	立 立台	274	船橋市三咲8-3-3	0474-49-0841
1	経	経営		政所 芳子	白 百合園	114	北区上中里3-7-11	3911-1478

平成四年度 新幹部紹介

平成四年度の新幹部が左記のように決定致しましたので御報告申し上げます。

主将・相見 典祐
0466(87)2340

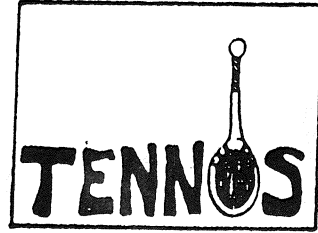
主務・後藤 孝
03(3996)9408

副将・浦邊 雅庸
0484(87)3063

副務・中村 純也
0463(94)8626

副務・宮本 匡彦
03(3828)6078

現役一同、三部復帰を目指して奮起して練習に臨む所存ですので、OB諸兄の日頃より一層の御指導、御鞭撻の程何卒宜しくお願い申し上げます。



訃報

- 岡 毅甫先輩(昭和11年卒) 平成四年一月
- 岩坂 一信先輩(昭和17年卒) 平成三年四月
- 江島 平八先輩(昭和21年卒) 不明
- 石井 三代治先輩(昭和23年卒) 平成四年一月
- 安齊 良一先輩(昭和33年卒) 不明
- 中澤 義治先輩(昭和38年卒) 平成三年九月

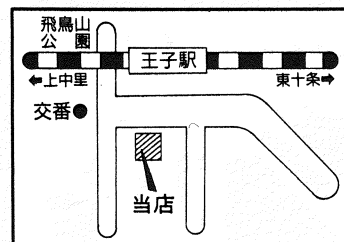
編集後記

第九号を発行するに当たりましてまず大変お忙しいところ無理を申し上げ原稿をお願いした先生方、OBの方々、そして毎回の御協力を頂くOBの方々、本当に有難うございます。

本号は先号に引き続き思わしくない記事を掲載することになってしまいました。しかし、幹部も交替し、即三部復帰目指してスタートしました。次号では必ずや明るい記事が紙面を埋め、OB諸兄の皆様喜んで頂けることと思っております。

今後共同卒御指導御協力賜わります様、御願い申し上げます。

optic house of アイファッションと難しいメガネの専門店
王子メガネ
 〒114 東京都北区王子1-9-1 電話 3913-1549



(各種コンタクトレンズ取扱っております)